

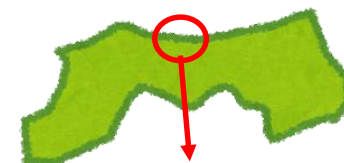
取組の概要

取組の概要 : 果菜類施設産地の形成推進
 計画作成主体 : 北栄町農業再生協議会
 対象品目 : いちご、小玉すいか (施設野菜)
 (産地面積:6.3ha)
 主な取組主体 : (株)北栄ドリーム農場、鳥取中央農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (総販売額)
 助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプ、被覆資材等)
 状況

ポイント

果菜類 (いちご、小玉すいか) 栽培に鳥取型低コストハウスを導入し、高収益な施設園芸の規模拡大により、意欲ある農業者の経営安定と、施設園芸の産地発展に資する。

地区の概要



鳥取県北栄町
海岸・平坦部地区

産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

施設面積 : 5.01ha
 販売額 : 30,874千円

〈目標:H31年度〉

施設面積 : 6.30ha
 販売額 : 60,060千円



鳥取型低コストハウス

推進体制

地域の関係者 (鳥取県、北栄町、鳥取中央農業協同組合、農業関係者等) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○県、町、JA等で連携し、作業効率の改善や栽培技術の確立により収益性の向上を図り、果菜類施設産地の形成を推進。

〈県・市町村単独事業〉

○県の「鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業」、「園芸産地活力増進事業」と連携して、施設園芸を加速的かつ戦略的に生産拡大。

事業効果

～新たな産出額1億円品目を目指して～

- 果菜類 (いちご、小玉すいか) 栽培の施設化により、収量及び品質が向上。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、果菜類の産地強化を実現。
- 小玉すいかは鳥取県農業活力増進プラン目標指標である産出額1億円以上の新規品目として有望化。

